

1. とうもろこしのシカゴ定期は、6月には330セント／ブッシェル前後で推移していたが、米国産地で生育に適した天候になったことから、7月には310セント／ブッシェル前後まで下落した。その後、中国向け輸出成約の大幅な増加や、米国産地の高温乾燥などによる作柄悪化から堅調に推移し、現在は370セント／ブッシェル台まで上昇している。
2. 大豆粕のシカゴ定期は、6月には320ドル／トン前後で推移していたが、米国産地の高温乾燥による大豆の生育悪化懸念などから、現在は360ドル／トン前後まで上昇している。
3. 米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、5月には30ドル／トン台で推移していたが、中国向け穀物の輸送需要が増加したことや、鉄鉱石の輸送需要が増加したことから8月には50ドル／トン台まで上昇した。その後、鉄鉱石の輸送需要が一段落したことから、現在は45ドル／トン前後となっている。
4. 外国為替は、6月には108円前後で推移していたが、新型コロナウイルスの影響により、世界的な景気後退が続いていることや、米国の低金利政策が長期化するとの見方から円高がすすみ、現在は106円前後で推移している。

